

「第5回食品安全管理向上研修会」を開催しました！

- 1 日時 令和3年11月25日(木) 15:00~17:00
- 2 場所 富山県民会館704号室(富山市新総曲輪4-18)
- 3 出席者 乳処理業者、乳製品製造業者等 約30名
- 4 内容

講演 「JFS規格の解説と取得について」
講師 一般財団法人 食品安全マネジメント協会(JFSM)
技術グループ マネージャー 八反田 誠 氏



講演の様子

<内容>

○JFSM と JFS 規格について

- ・ JFSM は 2016 年に設立。日本発の食品安全マネジメントの認証・適合証明 JFS 規格と、その運用の仕組みの開発および普及等を通じ、世界中の消費者が安心して暮らせる社会を目指す。2026 年までに JFS 規格の認証・適合証明 10,000 サイト以上の達成が目標。

○HACCP と JFS 規格

- ・ JFS 規格は HACCP 制度化に整合しているが、CCP 管理では対応が難しい危害要因、事故事例がある。FSM、HACCP、GMP の三要素で構成されている JFS 規格であれば食品安全の構築が可能。
- ・ JFS 規格は食品事業者が取り組みやすい仕組みで、監査会社でコンサルテーションの提供が可能、第三者による適合証明を受けることができるなどのメリットがある。

○JFS 規格適合証明の取得事例と取得

- ・ JFS-B 規格 (HACCP に基づく衛生管理と整合) の取得は、50 人以下の小規模事業者が、2021 年 11 月初旬までの直近 166 社のうち、73%を占める。
- ・ 監査会社で作業時間や費用は異なるので、数社から見積りを徴収して決めるのが望ましい。

○まとめ

- ・ JFS 規格に基づいた取組みで、厚生労働省の HACCP に沿った衛生管理の制度化に対応できるだけでなく、従業員の意識が向上し、組織の食品安全管理のレベルがあがる。



受講者の様子

5 その他

参加者のアンケートでは、「日本発の規格なので日本の企業にとってなじみやすい」、「JFS 規格の具体的な取組方法やメリットを知ることができてよかった」などの感想がありました。